

苗木を植える植樹祭の参加者—平内町の国有林「社会貢献の森」で



陸奥湾守る植樹祭

平内・社会貢献の森 160人が参加

「陸奥湾の海と山をつなぐ植樹祭」(陸奥湾のホタテを高温から守る植樹祭実行委主催)が20日、平内町内童子の国有林「社会貢献の森」で開かれた。陸奥湾では2010年の猛暑で重要な海産物のホタテが大量死した。地元で環境問題への意識が高まり、「陸奥湾のホタテを守るた

め、海とつながっている山に植樹をしよう」と翌年の11年から植樹祭が始まり、今年で11回目。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、約160人の参加者は検温や手指消毒などの対策を徹底。マスク姿で国有林内を約20分歩いて植樹場所に移動し、広葉樹のミスナラ、イタヤカエデ、クロモ

ジの苗木を山林の斜面に植えた。初めて植樹祭に参加した青森明の星高校2年、今畑季(きよ)さん(16)は「山の斜面を掘るのは大変でしたが、充実感があります」と話し、同級生の三浦心さん(16)も「植樹した苗木が大きく育ってほしいです」と話した。

【遠山和彦】

5年3月8日 第3種郵便物認可 ©毎日新聞社 2021 (日刊)



新 毎 日 新 聞

6月21日(月)

2021年(令和3年)

発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1

〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社